

としやレポート

2015年7月号

E-メール...nakatatoshiya015@gmail.co

発行 : 日本共産党大垣市後援会
発行日 : 2015年7月1日 第14号
連絡先 : 大垣市室本町5-8
Tel 78-6865 Fax 73-8572

部内資料

<中田区域>
江並中・南中・東中
北中・星和中・赤坂中
宇留生小・墨俣全域



6月議会

「戦争法案の慎重審議を求める請願」大垣市議会で不採択

大垣市議会最終日の6月15日、「安全保障法案に対する慎重審議を求める意見書」の請願に対して、共産党、市民ネットワークは賛成しましたが、自民・公明・民主が反対して、請願は不採択になりました。

この請願を審査した「建設環境委員会」では、自民クラブの岩井議員が「尖閣諸島等領土問題があるので集団的自衛権が

必要」と発言し慎重審議を求めた請願に反対、賛成少数で不採択になりました。市民の間にも戦争法案反対の声は高まっています。

7月2日、大垣駅北口広場で「もう黙つとれん、平和・自由・いのちを守るコンサート」が行われ、400人が集まりました。



～平和・自由・いのちを守る～もう黙つとれんアクション大垣 7月2日、大垣

6月議会

【補正予算】マイナンバー事業に反対

「年金機構の情報流出問題が示すとおり、個人情報を一括管理することには流出、不正使用の危険が大きい」

所属している企画総務委員会で審査されました、マイナンバー事業を進める補正予算の議案に対し、反対の発言をしました。

賛成多数で議案は通過しましたが、社会保障や税の情報を国が一括管理するこ

のマイナンバー制度、プライバシーを危うくする仕組みだと感じています。

大垣市でも、10月にはマイナンバー通知カードが郵送され、来年1月からは手続きにおいて実際にマイナンバーの使用が始まります。

今後、預金情報、医療診察情報もマイナンバーに紐付けようとする流れもあります。制度の中止を求めています。

6月議会

【一般質問】独自奨学金の拡充を

「33万人。876億円。この数字は、借りた奨学金の返済が滞っている人の数、そして滞納金の総額です」

「多くの若者は、厳しい雇用と経済情勢のもと、奨学金を返したくても返せない状況に置かれています。私も奨学金の返済毎月1万3000円を続けております」「市独自の奨学金とも言える、大垣市育英資金の助成金額現在月額2500円の増額を求めます」

6月8日(月)一般質問にて登壇し、足と声が震えながらも初質問を行いました

た。市長の答弁は、「予算がなく難しい、今後検討していく」といった回答でした。

現在は、申し込みは4月の一ヶ月の間のみ、申し込みもうとしていたら忘れてしまったという声も聞きます。

今後は、制度それ自体の改善に加え、活用、広報の部分も研究していきたいと思えます。

国民の立場で真実を伝え続けるしんぶん赤旗をお読みください。日刊紙...3497円 日曜版...823円

議会報告

養老鉄道の存続問題



笹田トヨ子氏

存続に向けて大垣市長のリーダーシップを求める

公有民営方式を提案されている養老鉄道存続問題について、笹田市議が一般質問で取り上げました。

大垣市当局は、養老鉄道を存続する場合、多くの課題があるとして、以下の点を上げました。

- 人口減少・少子高齢化に伴う今後の乗降客の減少による経営悪化
- 鉄道施設等の維持管理コストの増大、運転士等の人材確保
- 沿線地域がどれだけ地域鉄道を利用してくれるか

そして、近鉄に協力要請を行なったが前向きな回答は得られなかったと、公有民営方式には慎重な姿勢でした。

しかし、養老鉄道が廃線ともなれば600万人の乗降客の足を奪い、代替交通としてバス転換しても「高コスト構造で輸送力・定時性を考慮すると鉄道以上の優位性は認められない」（報告書）というものです。

養老鉄道は西濃地域のインフラ（社会資源）であり、これを廃線にすることは教育や福祉など住民生活に直接影響し、地域経済にも大きなダメージを与え、地方創生と言われる中、地域を亡ぼすことになるのではと危惧します。超高齢・少子化の中、人口減少時代だからこそ、住民の交通権を保障していくための地域交通政策が必要で、国が責任をもって政策化し予算的措置を行うべきです。また養老鉄道は2県3市4町に渡り、広域性が

ら見ても沿線自治体だけでなく岐阜県の果たす役割は重要です。以上のことを考えるならば、西濃地域の中心的位置にある大垣市がリーダーシップを発揮して県や国に対して働きかけるべきと、市長に養老鉄道存続のため全力を尽くすことを求めました。

（建設・経済・議会運営委員会報告）

養老鉄道問題は建設環境、経済産業、議会運営の各委員会でも審議されました。「大垣市民の利用が少ない」と一部の議員から消極論も出ましたが、経済委員会では「存続できればしたほうが良い」と、そのためには赤字や廃線時の負担も含めてどれだけ資金が必要か、9月までに試算をし、県と話をするなど現実的な意見が出されました。

養老鉄道は西濃地域のインフラ 住民参加で総合交通政策を

養老鉄道の存続のカギは住民参加による鉄道と周辺のバス路線などとの連携させた総合的な地域交通政策を策定していくことです。利用者を増加させる皆さんのアイデアをぜひお寄せください。



党派を越えて、西濃地域の議員や、養老鉄道を守る会の方、地域交通の研究者などと意見交換を行っています。

【地域課題】林町バロー北交差点に安全策



交差点北から。奥にバロー

地域の方から、交差点の危険さのご相談を頂きました。

林町バロー北側、大垣北高から21号線を越えてまっすぐ南側、西へはドラッグユタカ林町店へと続く抜け道になっている交差点です。

よく事故が起きている、かつては北高生の自転車との事故も起きた、安全策はとれないか、といった内容でした。

市の生活安全課にご相談したところ、「道幅が足りず信号設置は難しい道幅拡充のためには私有地買取りが必要道路標示、看板等を設置してきた警察には地域の声があったと伝える」との回答でした。



21と258の裏道だと分

とは思いますが、意見を伝えることがまず大切だと感じています。

今後、地域の課題がありましたらおすぐには、改善されない部分もあるか 気軽にご相談下さい。

大垣でも「ぞうれっしゃ」を走らせよう！

～ 作曲者藤村氏を囲む会 ～

日時 : 7月7日(火)午後6時から7時

場所 : どんこ子どもクラブ (大垣市新田町1-7 大垣市民会館東)

よびかけ: ぞう5000プロジェクト

おおがき準備会